

平成 26 年度

事業報告

社会福祉法人しろね福祉会

特別養護老人ホームしなの園
老人デイサービスセンターしなの園
老人介護支援センターしなの園

平成 26 年度事業報告

***** 目 次 *****

第1. しなの園・沿革史	1
第2. 庶務部門	
1. 事務の活動状況	2
2. 園務の活動状況	2
第3. 業務部門	
1. 医務の活動状況	3
2. 給食の状況	4
第4. 介護老人福祉施設事業	5-6
第5. 短期入所生活介護事業	7-8
第6. 通所介護事業	9-10
第7. 居宅介護支援事業	11-12
第8. 社会福祉法人しろね福社会（管理運営部門）	
1. 理事会の開催状況	13
2. 防災訓練実施状況	14
3. 研修参加の状況	15-16
4. 実習生受け入れ状況	17
5. 事故発生状況	18
6. ボランティア受入状況	19

第1. しなの園沿革史（平成26年度）

月	日	動き
4	1	辞令交付式（新規採用パート職員1名）、永年勤続表彰式（10年勤続1名）
	8	イオン白根店様、黄色いレシート贈呈式
	19	庄瀬さくら祭り参加
	21～23	特養：お花見ドライブ
	23～24	D S：洗面台設置工事
5	1	荘廻瀬神社祭り（特養・D S利用者参加）
	7	ベッドキャスター交換（約130カ所）
	18	白根ローターアクトクラブ様、花の苗植えボランティア
	20	庄瀬小学校4年生訪問（5/20・6/19・7/3・7/24・9/11・11/20・12/18）
	23	平成25年度事業・決算 監査
	24	庄瀬小学校運動会参加、見学
	28	第1回理事会
6	5・6・9	白根大夙合戦観戦
	9	新規採用パート介護職員1名
7	6	夏の喫茶
	16・17	白南中学職場体験（1名）
	20	特養：流しそうめん
	29	白根高校キャリア教育活動・企業見学
8	1	新規採用介護職員1名
	7	H27年度新規採用面接（2名）
	14	庄瀬農村公園祭りPR・「しなの戦隊キツツエンジャー」テレビ出演
	16・17	庄瀬農村公園祭り参加
9	1	荘廻瀬神社祭り（そよ風保育園御輿見学）
	1	新規採用介護職員1名
	8	新潟県新採用職員・施設体験研修（3名）
	14	敬老喫茶
	15	100歳の利用者へお祝い贈呈（南区長来園）
	21	しなの園祭り（しなの園駐車場にて）
	24	新潟市 社会福祉法人・特別養護老人ホーム指導監査
10	4	南区健康福祉フェア参加
	5	庄瀬地区防災訓練参加
	10	第2回理事会
	17	第1回防災訓練（各事業利用者参加による大規模訓練、防災体験研修）
	17	白根小学校紙芝居クラブボランティア
	19	肢体不自由児者父母の会主催 ミュージックケア
	26	第17回新潟県介護支援専門員実務研修受講試験（2名合格）
26	庄瀬小学校文化祭（特養・D S利用者参加）	
	30～11/13	テクノスクール総合実務科職場実習（障がい者1名）
11	1～12/31	しなの園前道路改良工事
	7	新潟市長選挙・期日前投票（5名）
	9	ボランティア交流会（9団体35名参加）
	10	弥彦菊祭り（S S利用者3名）
	23・25	そば打ち実演・試食（日清医療食品様）
	28	コーラスふるさと様ボランティア（本年度最終）
12	7	三地区（庄瀬・茨曾根・新飯田）交流ソフトバレーボール大会参加
	12	衆議院議員総選挙・期日前投票（2名）
	14	特養：年忘れ会
	16	影絵クラブ「こかげ」様ボランティア
	21	クリスマス喫茶
	26	D S：餅つき&お汁粉試食会
1	1	新規採用介護職員1名（パート職員より正職員へ）、看護職員1名

	25	介護福祉士・社会福祉士国家試験（介護福祉士 4名合格）
	31～2 中旬	インフルエンザ発症（利用者 9名、職員 6名）
2	23	通所介護事業所集団指導参加
	27	消防検査、建物検査
3	1	新規採用介護職員（1名）
	2	居宅介護支援事業所集団指導参加
	11	H27 年度介護報酬改定に係る事業者説明会
	18	第 3 回理事会
	18	日赤奉仕団ボランティア
	31	第 2 回防災訓練（夜間想定）
○ニラク様よりお菓子の寄贈（合計 38 回）		
○介護プロフェッショナル・キャリア段位制度、アセッサー（評価者）講習受講済み者（2名）		

第 2. 庶務部門

1. 事務の活動状況

積極的な情報共有

- ・利用者がより「安心・安全」な生活が送れるように他部署、職種との連携を密に行い、「サービスの質の向上」につながるよう努めた。
- ・利用者、家族が気持ちよくサービスを利用し、信頼関係が築けるよう窓口対応について、より細やかな接遇を心掛けた。

経営の安定に向けて

- ・新しい会計ソフトを導入したことで事務作業がより円滑になり、新会計基準に基づいて予算書を作成できた。
- ・消耗品の購入や節電など、常に経費削減の意識をもち行動した。

2. 園務の活動状況

マニュアルの整備

- ・緊急時対応などのマニュアルを見直し、周知することができた。
- ・機器・設備の使用マニュアルの周知徹底を行うことができた。

修理費用等の軽費節減

- ・修理費用の削減にあたり、諸設備の定期的なメンテナンスを継続することができた。
- ・業者との連絡を密にし、設備・機器の故障時、速やかな対応ができた。

環境整備

- ・快適な生活空間を保つために、施設内外の環境整備に努めた。

第3. 業務部門

1. 医務の活動状況

□接遇の向上

- ・接遇研修に参加し接遇の向上につなげた結果、外部から指摘を受けることはなかった。

□マニュアルの整備・徹底を行い、事故防止に努める

- ・感染症マニュアルの見直しを行ったが、特養で9名の利用者がインフルエンザを発症する結果となった。

□職員個々の技術・知識の向上

- ・褥瘡対策、点滴・経管栄養・尿道カテーテルの管理、インフルエンザ・感染性胃腸炎予防、看取りについての園内研修を行い医療面での知識の向上に努めたが、その場かぎりで終わることが多く全体的な理解までには至らなかった。

□チーム力と個別ケアの向上

- ・利用者のカンファレンスに参加。医療面でのサポートを行い、他職種との連携を図り個別ケアの向上に努めた。

<月別受診件数（人数）及び延べ日数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	16	21	16	23	21	12	17	13	21	24	28	21	233
日数	29	28	27	30	33	19	33	19	47	43	49	36	393

*吉沢医院以外も含む（内科、外科、神経科、眼科、循環器科、整形、皮膚科、神経内科、泌尿器科、脳外科）
インフルエンザ罹患者18名（特養利用者9名、職員9名）、感染性胃腸炎の発症はなし。

<月別点滴者数及び延べ日数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	3	2	3	3	1	1	6	5	6	9	10	8	57
日数	58	23	19	30	4	12	30	22	34	65	72	92	461

<月別血糖 A1c、定期血液検査人数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血糖	2	1	2	5	2	2	1	2	3	2	1	3	26
定期	15	8	9	19	16	11	14	10	7	20	14	10	153

*血糖 A1c は糖尿病でインシュリン注射が必要な方（毎月）、定期は6ヵ月ごとに全利用者対象。

<月別診察日数及び人数> () 内は臨時

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
人数	81(5)	76(5)	79(3)	79(3)	79(3)	79(3)	81(3)	79(1)	78(2)	79(1)	78(3)	78(1)

<月別入院者数及び延べ日数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1	2	2	1	2	1	0	0	1	0	0	1	11
日数	11	22	20	31	15	22	0	0	24	0	0	2	147

<月別歯科往診人数> 毎月2回往診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	16	16	16	17	18	16	15	15	14	13	13	12	181

(その他)

7月……………胸部 X 線検査 (結核検診) 78 名

10～11 月……インフルエンザ予防接種 特養利用者 78 名、職員 88 名

年間退所者 17 名

2. 給食の活動状況

□喜ばれる食事提供とイベント開催

- ・食器、トレーの全面入れ替えを行い、新しい食器での食事提供を実施。
- ・4 月からの給食委託業者変更に伴い、利用者や職員からの意見を参考にしながら献立内容等の検討を行い、よりよいサービス提供に向けて取り組んだ。行事食や他県の郷土食 (年 3 回) など好評をいただいた。
- ・「しなの園秋まつり」においては委託業者より「焼きそば」「おでん」の調理や盛り付けを協力いただき、利用者や地域の方々に喜んでいただけた。
- ・給食委員会主催のイベントを実施し、利用者に楽しんでいただける場の提供ができた。
 - 喫茶：3 回 (7/6、9/14、12/21)
 - そば打ち実演及び試食会：2 回 (11/23、11/25)

□適切な栄養管理の実施

- ・適正な栄養ケア・マネジメントの実施
 - 新規入所者の栄養ケア計画書の作成及びご家族への説明
 - 定期的なスクリーニング、モニタリング、経過記録を適正に実施
- ・低栄養状態に対しては、多職種協働で利用者の身体状況や摂取状況に応じて食事内容や栄養補助食品の提供などを検討し、状態の維持・改善を図った。
- ・褥瘡対策としては多職種で状況確認と情報共有を行い、発症予防や発症時の早期対応を実施し褥瘡発症の減少と早期改善につながった。
- ・栄養管理は利用者個々人の意見や思いを尊重しながら、状態に即したサポートを行った。

<食事形態別食数 (単位：食) >

月	特 養						ショートステイ					デイサービス				
	常菜	刻み/ 極刻み	ムース/ ミキサー	経管 流動他	合計	1日 平均	常菜	刻み/ 極刻み	ムース/ ミキサー	合計	1日 平均	常菜	刻み/ 極刻み	ムース/ ミキサー	合計	1日 平均
4月	3,372	2,054	1,104	448	6,978	233	953	414	57	1,424	47	508	69	6	583	19
5月	3,308	2,117	1,277	465	7,167	231	1,042	371	101	1,514	49	547	73	12	632	20
6月	2,928	2,198	1,496	444	7,066	236	995	411	74	1,480	49	506	61	8	575	19
7月	3,022	2,284	1,606	372	7,284	235	968	355	79	1,402	45	577	67	6	650	21
8月	3,065	2,196	1,698	434	7,393	238	979	285	84	1,348	43	553	64	9	626	20
9月	2,968	2,095	1,620	450	7,133	238	994	288	89	1,371	46	546	67	5	618	21
10月	3,069	2,228	1,670	465	7,432	240	889	301	82	1,272	41	594	69	7	670	22
11月	2,968	2,070	1,592	450	7,080	236	1,014	284	74	1,372	46	544	68	10	622	21
12月	3,081	2,122	1,602	465	7,270	235	1,100	283	74	1,457	47	551	283	8	842	27
1月	3,123	1,979	1,581	513	7,196	232	1,088	298	85	1,471	47	503	74	7	584	19
2月	2,886	1,791	1,300	457	6,434	230	856	225	124	1,205	43	458	67	9	534	19
3月	3,250	2,046	1,203	635	7,134	230	973	216	140	1,329	43	542	76	11	629	20
合計	37,040	25,180	17,749	5,598	85,567	234	11,851	3,731	1,063	16,645	46	6,429	1,038	98	7,565	21

第4. 介護老人福祉施設事業

1. 平成26年度重点実施事項

□接遇の向上

- ・日々のケアの中で利用者の意見や意向を聞き取る姿勢が定着できた。
- ・プライベート空間については、職員個々の意識に差があり、進めることができなかった。

□マニュアルの整備・徹底を行い、事故防止に努める

- ・マニュアル沿った適切なケアを実施することができた。
- ・介護事故後の要因分析方法については、上手く発生要因を導き出すことができなかった。

□職員個々の技術・知識の向上

- ・認知症に対して知識は向上しているものの、日々のケアへ十分に活かされなかった。
- ・職員個々が積極的に研修へ参加したが、復命研修の仕組みは確立できなかった。

□チーム力と個別ケアの向上

- ・利用者や家族を交え話し合いの機会を作り、意向に添った個別ケアを実施できた。
- ・介護職員から日々の変化に関する情報発信が増えたが、記録が不十分なことがある。

□稼働率の向上

- ・目標稼働率96%に対し、平均98%と目標を達成することができた。
- ・各職種と連携しスムーズな新規受け入れができた。

□地域との交流を図る

- ・積極的に地域行事へ参加できた。
- ・利用者の要望に添って買い物や外食に出かけることができた。

2. 業務実施状況

【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	2,378	2,388	2,361	2,434	2,467	2,379	2,480	2,372	2,417	2,421	2,187	2,338	28,622
稼働率	99.1%	96.3%	98.4%	98.1%	99.5%	99.1%	100.0%	98.8%	97.5%	97.6%	97.6%	94.3%	98.0%

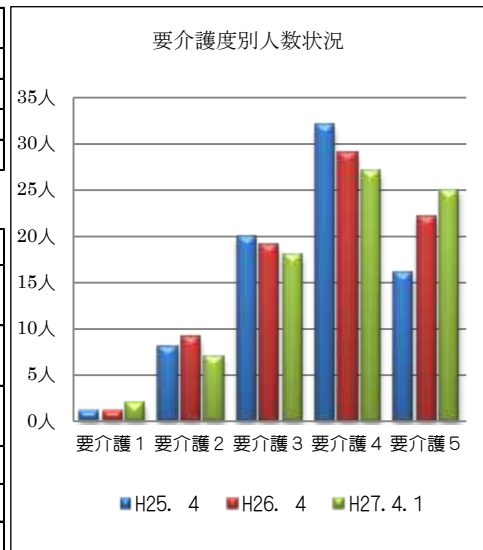
【入退所状況】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新潟市 白根地区	入所		3人	2人	1人					2人	2人	2人	2人	14人
	退所	3人	2人	1人					1人		3人	2人		12人
新潟市 新津地区	入所													0人
	退所								1人					1人
新潟市 小須戸地区	入所										1人		1人	2人
	退所									1人		1人	1人	3人
燕市	入所													0人
	退所													0人
五泉市	入所													0人
	退所													0人
田上町	入所													0人
	退所												1人	1人

*入所者合計16名、退所者合計17名

【要介護度別人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H25. 4	1人	8人	20人	32人	16人	77人
H26. 4	1人	9人	19人	29人	22人	80人
H27.4.1	2人	7人	18人	27人	25人	79人
	3%	9%	23%	34%	32%	



【市町別人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
新潟市 白根地区	2人	3人	15人	21人	21人	62人
新潟市 新津地区		1人	2人	2人	3人	8人
新潟市 小須戸地区		1人	1人	1人	1人	4人
燕市		1人		2人		3人
五泉市				1人		1人
田上町		1人				1人

【入所申込状況】

	新潟市			燕市	五泉市	田上町	その他	合計
	白根地区	新津地区	小須戸地区					
H24年度	253人	31人	19人	3人	2人	104人	11人	423人
H25年度	271人	9人	13人	2人	2人	129人	10人	436人
H26年度	289人	4人	5人	1人	0人	76人	0人	375人

第5. 短期入所生活介護事業

1. 平成26年度重点実施事項

□接遇の向上

- 生活環境の整備においては、リビング内のテーブルや居室内のベッド配置替えを考え、日々変化する利用者に対応できた。
- 多床室内のプライベート空間をカーテンの仕切りだけでは確保できなかった。
- 接遇目標(毎月)を計画・実施までは確立されているが、その後の評価から見直し・課題の洗い出しができなかった。

□マニュアルの整備・徹底を行い、事故防止に努める

- 職員間の情報共有においては、下半期から「個別ケアノート」を作成・活用することにより、細かい情報共有ができ、事故防止に繋げることができた。
- 記録方法の標準化については、施設全体の取り組みによりマニュアルが作成され、実施されている段階だが、まだ個人差が大きい現状である。
- 毎日ヒヤリハットの話し合いを行い、想定される事故や対応策を検討し、重大事故は発生しなかった。

□チーム力と個別ケアの向上

- 「個別ケアノート」の採用により、発言が苦手な職員も記述で自分の意見を活かせるようにな

った。

- ・問題発生から対応策に至るまで時間を要し、早急に適切な対応が出来ないことが度々あった。
- ・各月の余暇担当が中心となり、時節に合った活動を計画し実施することができた。
- ・個別リハビリはケアプランに沿って提供できた。

□稼働率の向上

- ・目標平均稼働率93%→実績稼働率87.0%

稼働率低下の原因として以下の3点が挙げられる。

- ①日中の定員オーバーを極力無くす為の調整を行った。
- ②長期に渡り利用される方の増加傾向と、入院や死亡により一時的に空室が多く発生した。
- ③地域に施設が新設され、入所される利用者もおられることも要因の一つと考えられる。

〈介護現場の取り組みとして〉

- ・随時個別に適合した尿取りパット等の見直しを行い、経費削減に努めた。
- ・利用継続に繋がるよう、利用者に親身に関わることを軸とし、余暇活動の充実にも努めた。

□地域との交流を図る

- ・地域で行われる祭りや運動会等の行事に例年以上の参加ができた。
- ・園芸用品の買い出し等、利用者と地域へ買い物に出掛ける機会を設けられた。
- ・ボランティアに來られた方に対し、利用者と職員が積極的に関わる事ができた。

2. 業務実施状況

【利用実績】

	平成26年度 利用内訳					平成26年度	平成25年度
	利用人数	延べ人数	1日平均	新規利用者	送迎件数	稼働率	稼働率
4月	47人	543人	18.1人	3人	174件	90.5%	97.3%
5月	45人	572人	18.5人		171件	92.5%	97.7%
6月	41人	558人	18.6人	1人	170件	93.0%	99.2%
7月	43人	547人	17.6人	1人	159件	88.0%	95.0%
8月	45人	530人	17.1人	1人	170件	85.5%	102.6%
9月	44人	517人	17.2人	2人	162件	86.0%	98.5%
10月	44人	486人	15.7人	1人	167件	78.5%	95.2%
11月	50人	522人	17.4人	6人	180件	87.0%	97.8%
12月	47人	555人	17.9人	1人	203件	89.5%	95.2%
1月	48人	554人	17.8人	2人	184件	89.0%	95.3%
2月	49人	462人	16.5人	4人	172件	82.5%	101.4%
3月	48人	507人	16.3人	4人	194件	81.5%	98.1%
合計	551人	6,353人	-	26人	2,106件	-	-
平均	46人	529人	17.4人	2人	176件	87.0%	97.7%

【要介護度別実人数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者人数	人	3人	9人	16人	19人	8人	5人	60人
利用者比率	0%	5%	15%	27%	32%	13%	8%	100%

第6. 通所介護事業

1. 平成26年度重点実施事項

□チーム力と個別ケアの向上

- ・意識的に意見要望書をあげることによりチーム内での情報共有、個別対応の実施ができた。
- ・個別ケアの向上のため利用者担当制を始めたが、どのように動いたらいいか各職員の認識も曖昧になってしまい意見交換や問題提起にまで繋がるのが少なく、浸透できなかった。
- ・外出支援による利用者のリストを作成したが、時期的に遅くなってしまい実際の外出には繋がらなかった。
- ・選択レクや整容場所の環境整備を行い、利用者にレクリエーションを選んでもらったり、入浴後の整容を自分で行うなど自立支援に向けたサービスの実施ができた。

□マニュアルの整備・徹底、事故防止

- ・ハイエース運転者によるミーティングを行い、送迎ルートについて再確認し統一を図った。

□稼働率の向上

- ・平均稼働率 82.8% (目標 78%)
- ・新規契約件数の増加、実利用者数の増加により安定した稼働率を維持できた。
- ・ニーズに合わせた受入れ (在宅酸素利用者、延長希望者、不定期利用者) ができた。

□地域交流

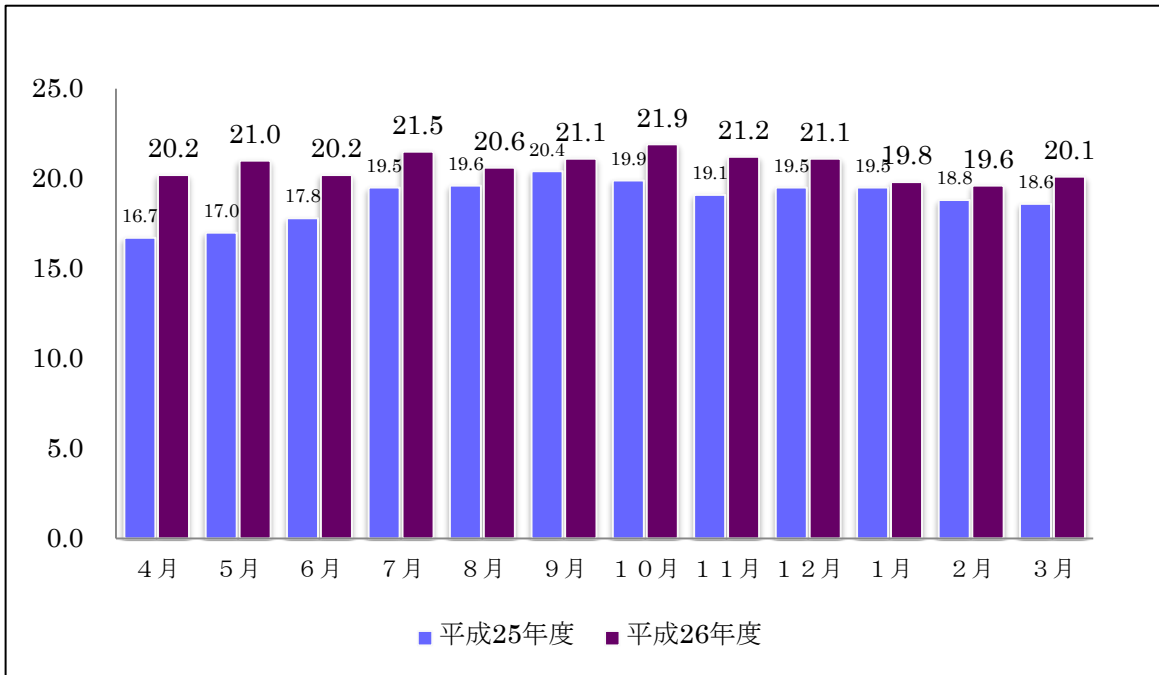
- ・地域の文化祭やボランティアの繋がりで手工芸の展示会などに参加できた。

2. 業務実施状況

【利用実績】

	実利用数	通所延べ利用者数	予防延べ利用者数	稼働日数	1日平均	新規利用		稼働率	
						H26年度	H25年度	H26年度	H25年度
4月	86人	502人	105人	30	20.2人	1人	5人	80.9%	66.8%
5月	88人	533人	119人	31	21.0人	3人	5人	84.1%	68.0%
6月	90人	492人	114人	30	20.2人	3人	3人	80.8%	71.1%
7月	84人	551人	114人	31	21.5人	1人	2人	85.8%	78.1%
8月	87人	526人	112人	31	20.6人	5人	1人	82.3%	78.3%
9月	84人	528人	104人	30	21.1人	2人	1人	84.3%	81.6%
10月	87人	575人	106人	31	22.0人	2人	2人	87.9%	79.7%
11月	88人	551人	85人	30	21.2人	1人	4人	84.8%	76.4%
12月	88人	576人	77人	31	21.1人	3人	2人	84.3%	78.1%
1月	83人	521人	74人	30	19.8人	1人	0人	79.3%	77.9%
2月	82人	478人	70人	28	19.6人	2人	1人	78.3%	75.3%
3月	84人	528人	95人	31	20.1人	2人	4人	80.4%	74.6%
合計		6,361人	1,175人	364	20.7人	26人	30人	82.8%	75.5%

【月別平均利用者数】



【要介護度別実利用者数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成25年3月	3人	13人	13人	27人	16人	6人	2人	80人
	4%	16%	16%	34%	20%	8%	3%	100%
平成26年3月	2人	15人	20人	27人	12人	5人	5人	86人
	2%	17%	23%	31%	14%	6%	6%	100%

第7. 居宅介護支援事業

1. 平成26年度重点実施事項

□チーム力の向上と個別ケアの推進

- ・利用者の生活歴や日課の情報収集とその共有を強化した。「生活」を基盤に目標を検討していくことで、その人らしい在宅生活や具体的な取り組み内容を導き出すことができた。
- ・ケアプランの評価に際しては、目標の継続、変更の判断根拠をモニタリング記録に明記した。
- ・内部では各利用者の状況共有、ケース検討を継続。担当不在時の相談代行や困難ケースの担当2名体制を実施することができ、臨機応変に、ノンストップの相談対応が行えた。

□職員の技術・知識の向上

- ・事例研究（年8回）、内部研修（年3回）は予定通り実施。外部研修においては、専門分野だけではなく、障がい福祉制度や成年後見制度等、介護保険外に関する研修にも積極的に参加した。利用者のニーズに合わせ、介護保険サービスだけではない幅広い支援展開、サービス

の活用に繋がった。

- ・南区地域福祉ネットワーク会議、高齢者ケア会議、在宅医療推進のための多職種連携研修会に参加。医療、福祉関係者、地域関係者と意見交換を行い、ネットワークを広げた。
- ・状態変化によるケアプランの変更、包括支援センターや他事業所からの引き継ぎケースなど変則的な支援に際して、ケアマネジメントプロセスの再確認や修正が必要なことがあった。

□稼働率の向上

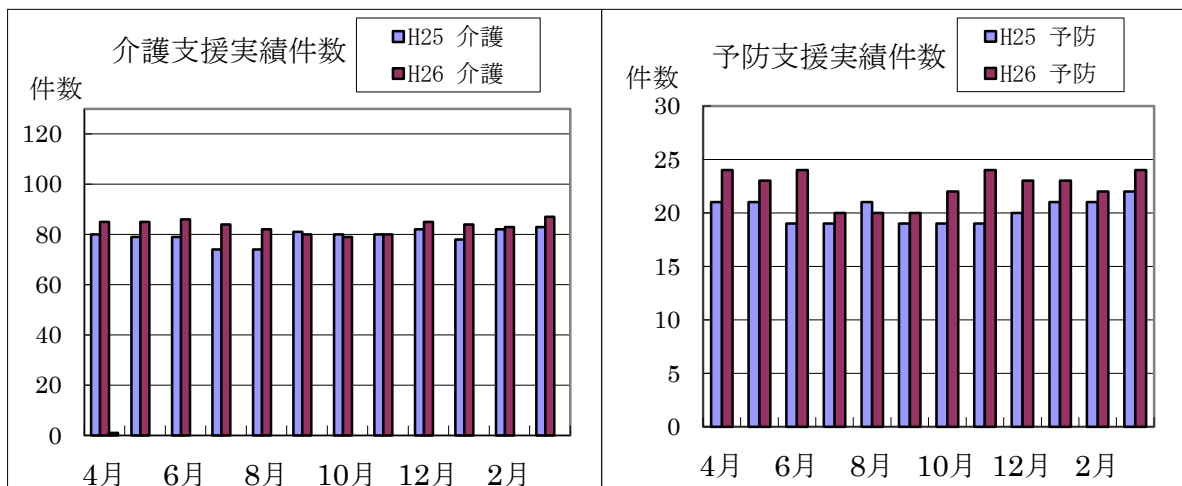
- ・目標レセプト件数 105件/月 → 105.8件/月
- ・解約者 21名、新規利用者 30名
- ・上半期は解約者数が多かったが、下半期は安定し、新規利用者の受け入れもタイムリーに対応できた。
- ・各ケアマネの担当件数も徐々に平均化している。
- ・毎週月曜日に内部朝会を行い、各ケアマネ、利用者の予定を確認、またそれに伴う事務作業や担当者への連絡などを再確認し、計画的に業務が進められるように努めた。

2. 業務実施状況

【実績件数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	収益(3月分)
H25	介護	80	79	79	74	74	81	80	80	82	78	82	83	79.3	1,244,000
H26	介護	85	85	86	84	82	80	79	80	85	84	83	87	83.4	1,287,670
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	収益(3月分)
H25	予防	21	21	19	19	21	19	19	19	20	21	21	22	20.2	87,614
H26	予防	24	23	24	20	20	20	22	24	23	23	22	24	22.4	102,000
備考	・介護給付、予防給付者数合計 H25年度99.5件/月、H26年度105.8件/月 ・認定調査件数 120件/年(H25年度:105件)														

【実績件数推移】



【介護度別利用者状況 (件数)】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H25年度3月	4(4%)	18(17%)	23(22%)	27(26%)	20(19%)	11(10%)	2(2%)	105
H26年度3月	5(5%)	19(17%)	21(19%)	34(30%)	17(15%)	10(9%)	5(5%)	111

【地域別利用者状況（件数）】

	新飯田	茨曾根	庄瀬	小林	臼井	その他	計
平成25年3月	23(22%)	21(20%)	38(36%)	12(11%)	4(4%)	7(7%)	105
平成26年3月	25(23%)	23(20%)	39(35%)	12(11%)	4(4%)	8(7%)	111

【加算状況年間件数】

	初回	入院時連携	退院・退所	認知症	独居
平成25年度	30	23	21	326	26
平成26年度	30	24	22	233	28

【年間相談件数】

	相談経路				計	月平均
	電話	文書	来所	訪問		
平成25年度	4,368	296	199	4,154	9,017	751
平成26年度	4,082	294	275	4,500	9,151	763

第 8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）

1. 理事会の開催状況

区 分	期 日・会 場	事 項
第 1 回理事会	平成 26 年 5 月 28 日（水）13:30～ しなの園ボランティアステーション	<ul style="list-style-type: none"> (1)社会福祉法人しろね福祉会平成 25 年度事業報告について (2)社会福祉法人しろね福祉会平成 25 年度収支決算報告について <ul style="list-style-type: none"> <監査報告> (3)社会福祉法人しろね福祉会公印規程第 5 条に基づく別表公印台帳の改正について
第 2 回理事会	平成 26 年 10 月 10 日（金）15:00～ しなの園ボランティアステーション	<ul style="list-style-type: none"> (1)社会福祉法人しろね福祉会平成 26 年度上半期事業報告について (2)社会福祉法人しろね福祉会定款の一部改正について (3)社会福祉法人しろね福祉会定款施行細則の全部改正について (4)社会福祉法人しろね福祉会理事長職務代行の選任について (5)社会福祉法人しろね福祉会法令遵守規程の制定について
第 3 回理事会	平成 27 年 3 月 18 日（水）15:00～ しなの園ボランティアステーション	<ul style="list-style-type: none"> (1)社会福祉法人しろね福祉会特別養護老人ホーム規則の一部改正について (2)社会福祉法人しろね福祉会役員報酬及び費用弁償に関する規程の制定について (3)社会福祉法人しろね福祉会経理規程の全部改正について (4)社会福祉法人しろね福祉会特別養護老人ホームしなの園施設長の任免について (5)社会福祉法人しろね福祉会平成 26 年度第一次収支補正予算について (6)社会福祉法人しろね福祉会平成 27 年度事業計画について (7)社会福祉法人しろね福祉会平成 27 年度収支予算案について (8)社会福祉法人しろね福祉会介護老人福祉施設運営規程及び短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正について

2. 防災訓練実施状況

区 分	第 1 回	第 2 回
訓練の区分	消防計画に基づく総合訓練（昼間）	同 左（夜間想定）
実施の日時	平成 26 年 10 月 17 日（金） 14 時 00 分～15 時 15 分	平成 27 年 3 月 31 日（火） 14 時 00 分～15 時 00 分
実施の場所	調理室からの出火を想定し、正面玄関に避難	喫煙室からの出火を想定し、デイサービスフロアに避難
訓練参加者	職員（52 名） 利用者（83 名）	職員（21 名） 利用者（37 名）
避難訓練内容	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への 119 番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤消火器・補助消火栓を使用し、初期消火	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への 119 番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤消火器を使用し、初期消火
講評・反省等	<ul style="list-style-type: none"> ・他班の利用者の状況が分からないため指示があると良い。 ・職員 2 人ペアでの誘導が難しかった。 ・誘導職員の偏りがあり、火元に近い利用者の誘導に時間がかかった。 ・もっと臨機応変に声かけ・指示が出せるようにした方が良い。 ・AED 等の使用方法について時間が経過すると忘れてしまうことがあるため、防災訓練で繰り返し行えて再確認できて良かった。等 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の場合、職員 5 人体制であるため初期消火が基本となる。 ・緊急連絡で職員到着までに時間を要するため、近隣住民や消防団との普段からのコミュニケーションが大切。 ・今回は指示者が明確で良かった。 ・誘導手順書通りに行うのは難しい。 ・訓練では役割分担ができていますが、有事の際に役割分担ができるかなど、実践に活かされる訓練を今後考えていくべきだと思う。等
その他 （防災訓練）	<p>看護師（応急手当普及員講習受講者）及び消防設備業者の指導のもと職員対象に下記の訓練を実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 煙体験 2. AED を用いて一次救命訓練 3. 竿、毛布を使用して応急担架作り、搬送訓練 4. 水消火器を使用しての消火訓練 5. 消火栓を使用しての放水訓練 	消防設備業者の指導のもと、補助消火栓の取扱方法説明と実際に消火栓を使用しての放水訓練を実施

3. 研修参加の状況

【外部研修】

	研 修 名	研修期間						人数	日数	延べ
		年	月	日	～	月	日			
1	管理者研修会	26	5	27	～	5	27	1	1	1
2	社会福祉施設新任職員研修		6	10	～	6	11	1	2	2
3	アクティビティ・ケア研修		6	12	～	6	12	3	1	3
4	新潟市認知症介護実践研修		6	12	～	6	13	1	2	2
5	介護支援専門員専門研修Ⅰ		6	16	～	6	16	1	1	1
6	新潟市認知症介護実践研修		6	17	～	6	17	1	1	1
7	社会福祉施設新任職員研修		6	17	～	6	18	2	2	4
8	介護支援専門員専門研修Ⅰ		6	19	～	6	20	1	2	2
9	新潟市認知症介護実践研修		6	19	～	6	20	1	2	2
10	接遇研修（リーダーコース）		6	20	～	6	20	2	1	2
11	接遇研修（初任者コース）		6	23	～	6	23	1	1	1
12	相談員のためのスキルアップ研修		6	24	～	6	24	1	1	1
13	接遇研修（リーダーコース）		6	25	～	6	25	2	1	2
14	介護支援専門員専門研修Ⅰ		6	30	～	7	1	1	2	2
15	接遇研修（初任者コース）		7	1	～	7	1	3	1	3
16	社会福祉施設中堅職員研修		7	3	～	7	4	1	2	2
17	社会福祉施設中堅職員研修		7	8	～	7	9	1	2	2
18	気づく力研修		7	14	～	7	14	2	1	2
19	特定給食施設指導会（衛生管理）		7	18	～	7	18	1	1	1
20	認知症介護実践者研修(中間報告会)		7	24	～	7	24	2	1	2
21	社会福祉施設中堅職員研修		7	30	～	7	31	1	2	2
22	社会福祉施設中堅職員研修		8	7	～	8	8	1	2	2
23	相談員のためのスキルアップ研修		8	18	～	8	18	1	1	1
24	介護支援専門員専門研修Ⅰ		8	21	～	8	21	1	1	1
25	介護支援専門員専門研修Ⅰ		8	25	～	8	25	1	1	1
26	認知症介護実践者研修(成果報告会)		8	26	～	8	26	1	1	1
27	認知症ケア・対応研修		8	29	～	8	29	3	1	3
28	コミュニケーションスキルアップ研修（初任者）		9	2	～	9	2	4	1	4
29	コミュニケーションスキルアップ研修（リーダー）		9	9	～	9	9	3	1	3
30	社会福祉施設指導的職員研修		9	10	～	9	11	3	2	6
31	介護支援専門員専門研修Ⅱ		9	12	～	9	12	1	1	1
32	認知症ケア・対応研修		9	16	～	9	16	1	1	1
33	評価者（アセッサー）集合研修		9	19	～	9	19	2	1	2
34	高齢福祉相談担当職員研修会第1回		9	24	～	9	24	1	1	1
35	介護支援専門員専門研修Ⅱ		9	30	～	9	30	1	1	1
36	介護福祉士実習指導者研修		10	9	～	10	10	1	2	2
37	特定給食施設指導会（栄養管理）		10	9	～	10	9	1	1	1
38	介護福祉士実習指導者研修		10	23	～	10	24	1	2	2
39	新潟市認知症介護実践研修		10	30	～	10	31	1	2	2
40	新潟市認知症介護実践研修		11	4	～	11	4	1	1	1
41	高齢福祉相談担当職員研修会第2回		11	5	～	11	5	1	1	1
42	新潟市認知症介護実践研修		11	6	～	11	7	1	2	2
43	介護支援専門員専門研修Ⅱ		11	17	～	11	18	1	2	2
44	新潟県ユニットケア研修2014		11	18	～	11	19	3	2	6
45	結核感染症研修		11	26	～	11	26	1	1	1
46	認知症介護実践者研修(中間報告会)		12	4	～	12	4	1	1	1
47	他職種連携研修「機能訓練編」		12	15	～	12	15	1	1	1
48	自立支援型ケアプランの構造を学ぶ		11	29	～	11	29	1	1	1
49	相談員のためのスキルアップセミナー	27	1	7	～	1	7	1	1	1
50	介護支援専門員実務研修		1	9	～	1	9	2	1	2

51	認知症介護実践者研修(成果報告会)		1	14	~	1	14	1	1	1
52	認知症介護実践者研修(総括講座)		1	16	~	1	16	1	1	1
53	介護支援専門員実務研修		1	27	~	1	29	2	3	6
54	応急手当普及員再講習		1	28	~	1	28	1	1	1
55	他職種連携研修「看取り実践編」		2	4	~	2	4	5	1	5
56	新潟県介護予防従事者研修		2	6	~	2	6	1	1	1
57	福祉マンパワー講習会		2	13	~	2	13	1	1	1
58	災害発生を想定した図上訓練		2	18	~	2	18	1	1	1
59	福祉マンパワー講習会		2	19	~	2	19	4	1	4
60	応急手当普及員再講習		3	4	~	3	4	1	1	1
61	介護支援専門員実務研修		3	11	~	3	13	2	3	6
62	新潟市認定調査員従事者研修		3	11	~	3	11	2	1	2
63	新潟市認定調査員従事者研修		3	13	~	3	13	4	1	4
合 計								98	84	128

【内部研修】

	研 修 名	研修期間					人数	日数	延べ	
		年	月	日	~	月				日
1	倫理研修	26	4	14	~	4	14	12	1	12
2	倫理研修		4	28	~	4	28	15	1	15
3	感染症研修		5	12	~	5	12	9	1	9
4	感染症研修		5	26	~	5	26	7	1	7
5	リスクマネジメント研修		6	9	~	6	9	12	1	12
6	リスクマネジメント研修		6	23	~	6	23	9	1	9
7	介護研修		7	7	~	7	7	9	1	9
8	介護研修		7	28	~	7	28	10	1	10
9	看取り研修		8	11	~	8	11	10	1	10
10	医務研修		8	25	~	8	25	14	1	14
11	感染症研修		9	8	~	9	8	9	1	40
12	栄養研修		10	14	~	10	14	16	1	16
13	アクティビティ・ケア研修		10	27	~	10	27	13	1	13
14	シーティング（基礎編）研修		11	10	~	11	10	13	1	13
15	シーティング（応用編）研修		11	24	~	11	24	14	1	14
16	看取り研修		12	8	~	12	8	9	1	9
17	介護事例発表	27	1	19	~	1	19	10	1	10
18	介護事例発表		1	26	~	1	26	10	1	10
19	褥瘡研修		2	9	~	2	9	8	1	8
20	褥瘡研修		2	23	~	2	23	10	1	10
21	認知症ケア研修		3	9	~	3	9	14	1	14
22	認知症ケア研修		3	23	~	3	23	7	1	7
合 計								240	22	240

(研修参加の状況)

平成 26 年度外部研修の参加状況については、ほぼ例年通りであった。新潟県社会福祉協議会主催の研修が大半を占めているが、その他にも南区において、みなふくねっと主催による勉強会、新潟市南区 3 包括支援センター主催による勉強会が定期的に行われ、それについても積極的に参加してきた。内部研修（定期研修）に関しては、研修委員会中心に企画実施を行っており、参加状況は例年並みであった。1 テーマ以外は、全て職員が講師を務めており、職員のスキルアップに繋がってきている。

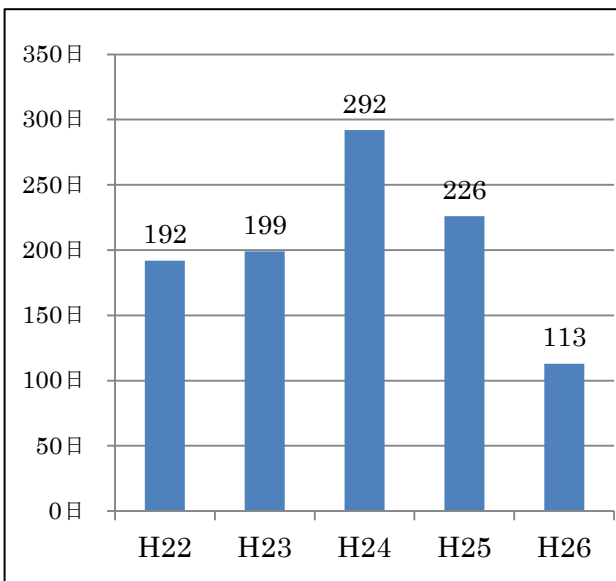
(月別実習人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習人数	0	0	2	0	3	3	2	3	0	0	0	1	14
延べ日数	0	0	6	0	30	37	7	23	0	0	0	10	113

実習名	人数	延べ日数	実習依頼校
介護福祉士実習	4	50	新潟青陵大学 新潟医療福祉カレッジ
介護職員初任者研修	2	6	三幸福祉カレッジ
総合実務科訓練生職場実習	1	10	新潟県立新潟テクノスクール
社会福祉援助技術現場実習	2	47	新潟医療福祉大学 国際こども・福祉カレッジ
合計	9	113	

(年度別推移)

年度	H22	H23	H24	H25	H26
実習延べ日数	192	199	292	226	113



年度当初 8 校より受け入れ依頼がきていたが、実際に学生の実習につながったのは 6 校であった。実習につながらなかった理由としては、学生の居住地・交通手段等の関係が影響しているとのこと。昨年度は、障害者職業訓練にて職場実習の受け入れを行った。多様な実習生を受け入れ指導を行うことにより、職員のスキルアップに繋がった。

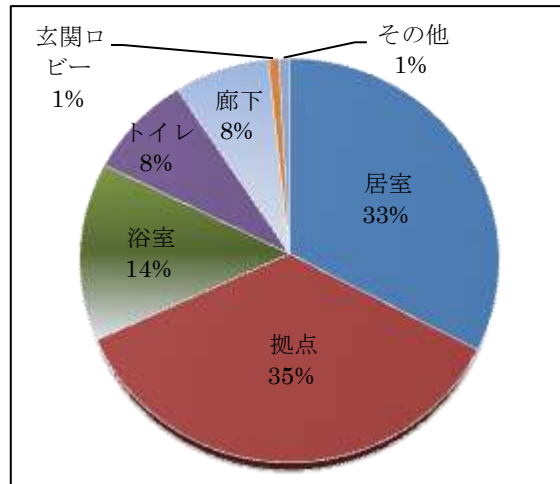
5. 事故発生状況

(1) 事故状況

(月別)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	15	17	12	14	8	12	15	7	8	5	3	3	119

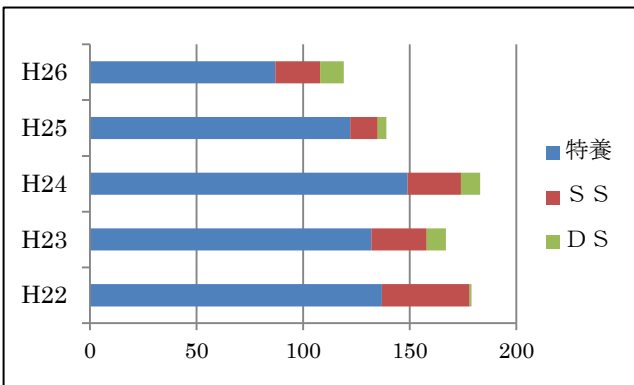
(事故別)	特養	SS	DS	合計
転倒等	37	9	6	52
転落等	8	0	0	8
誤嚥	0	0	0	0
誤薬	6	1	1	8
その他	36	11	4	51
合計	87	21	11	119

(受傷別)	特養	SS	DS	合計
骨折	4	0	1	5
打撲・腫脹	11	1	1	13
表皮剥離	18	5	1	24
裂傷・擦傷	13	4	1	18
皮下出血	3	0	0	3
その他	4	3	0	7
異常なし	34	8	7	49
合計	87	21	11	119



事故報告書の件数は平成 25 年度以降減少している。今まで軽微な事故等についても全て事故報告としていたが、委員会で事故の定義の見直しを行い軽微なものについてはヒヤリハット報告として対策を行うこととしている。件数的には減少傾向にあるが、前年度に引き続き重大事故が発生している。特養・デイサービスで合わせて 5 件の骨折事故が起きており、新潟市への報告を行った。

集計結果を見ても転倒事故が約半数を占めていることから、今後も骨折等の重大事故につながる恐れがあり防止対策を講じる必要がある。



(2) 苦情 (意見・要望等)

	特養	SS	DS	居宅	その他	合計
平成 25 年度	3	9	3	3	0	18
平成 26 年度	2	7	12	2	0	23

苦情 (意見・要望等) の内容を見ると、職員の対応等についての内容が大半を占めている。中でも在宅系サービス (ショートステイ、デイサービス) の対応について、利用者・家族とのコミュニケーション不足・説明不足等が原因で相手に不信感を与えてしまったケースが多い。在宅サービスの場合、家族と接する機会が多いため言動等には常に注意を払っていかなければならない。いただいた苦情 (意見・要望等) に対して、真摯に受け止め法人全体として振り返り、今後のより良いサービス提供に活かしていきたい。

6. ボランティア受け入れ状況

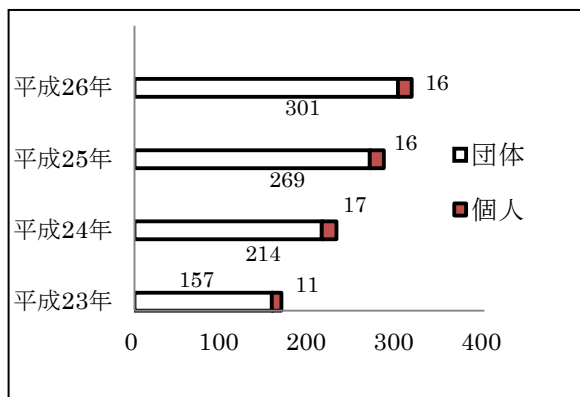
(1) 来園ボランティア

日付	ボランティア名	人数	日付	ボランティア名	人数
H26 4月4日	滝沢文子様	1	H26 9月21日	サンライズ様	6
4月7日	麗人会様	4	9月21日	秋葉区芸能協会様	15
4月9日	折り鶴様	9	9月21日	まこも会様	6
4月17日	折り鶴様	8	9月21日	フラ君子スタジオ様	4
5月12日	麗人会様	4	9月21日	白根小唄音頭保存会様	1
5月14日	折り鶴様	7	9月21日	折り鶴様	8
5月18日	ロータアクトクラブ様	6	9月25日	折り鶴様	7
5月22日	折り鶴様	7	10月3日	滝沢文子様	1
5月22日	まこも会様	4	10月6日	麗人会様	4
5月31日	秋葉区芸能協会様	15	10月7日	折り鶴様	6
6月2日	麗人会様	4	10月17日	白根小学校紙芝居クラブ様	10
6月6日	滝沢文子様	1	10月19日	肢体不自由児者父母の会様	10
6月25日	折り鶴様	7	10月23日	折り鶴様	7
6月25日	まこも会様	5	11月3日	麗人会様	3
7月4日	滝沢文子様	1	11月4日	折り鶴様	6
7月7日	麗人会様	5	11月6日	まめの木様	4
7月10日	なかよし会様	4	11月19日	折り鶴様	5
7月11日	土田真行様	1	11月26日	コーラスふるさと様	11
7月17日	土田真行様	1	12月1日	麗人会様	5
7月24日	折り鶴様	8	12月2日	折り鶴様	6
7月25日	土田真行様	1	12月5日	滝沢文子様	1
7月28日	土田真行様	1	12月11日	なかよし会様	4
7月30日	土田真行様	1	12月11日	まめの木様	4
7月31日	白南中学校様	2	12月13日	民謡祝会様	6
8月1日	滝沢文子様	1	12月16日	影絵クラブこかげ様	7
8月4日	麗人会様	3	H27 1月2日	小林貴樹様	1
8月5日	折り鶴様	6	1月15日	まめの木様	3
8月7日	まめの木様	4	2月6日	滝沢文子様	1
8月25日	庄瀬小学校4年生様	2	2月19日	まめの木様	2
8月28日	折り鶴様	7	3月2日	麗人会様	5
9月1日	麗人会様	3	3月6日	滝沢文子様	1
9月2日	折り鶴様	8	3月12日	まめの木様	4
9月5日	滝沢文子様	1	3月18日	日赤奉仕団様	10
9月13日	塩田博美様	1			

(2) 月別ボランティア数 (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体	21	43	16	19	22	58	37	29	32	3	2	19	301
個人	1	0	1	6	1	2	1	0	1	1	1	1	16
合計	22	43	17	25	23	60	38	29	33	4	3	20	317

(3) ボランティアの推移



ボランティア来園者数は年々増加してきている。ボランティア委員会が中心となって、受け入れ・対応を行っている。恒例となった「感謝祭」については、平成26年度より「交流会」とし、ボランティア同士の交流、職員との交流の場となっている。

ボランティアの方からは、声がかからないと行きづらいという意見もあり、施設として申し出を待つ受け身の姿勢ではなく、積極的に各種ボランティア団体に働きかけていく必要がある。

ボランティア活動ではないが、庄瀬小学校4年生と年間を通して交流することができた。